

年頭に当たって

代表取締役社長 上西 由晃

新年あけましておめでとうございます

はじめに、新型コロナウイルスによる被害や令和2年7月豪雨等各地で発生した自然災害に遭われた皆さまに心からお見舞い申し上げますとともに、被災地の復旧と新型コロナウイルス感染症の一刻も早い終息をお祈りいたします。

さて、皆様方におかれましては、年末年始は三密を避け「ステイ・ホーム」あるいは「ステイ・ウィズ・コミュニティ」を心掛け、静かに過ごされたことと思います。

昨年を振り返りますと、世界中で新型コロナウイルスによるパンデミックが発生し、予定していた東京オリンピックもまさかの延期となり、ロックダウンや緊急事態宣言などで経済も人の動きも制約を受け、まさに誰もが想像できない事態に見舞われた一年でした。農業におきましても、農作物の需要減少、農作業者の人材確保難、自然災害等での影響は甚大なものがありました。

一方、コロナ禍の状況において弊社もニューノーマルな働き方としてリモートワークを導入しました。お陰様で皆様のご協力により、無事に新しい年を迎えることができましたこと御礼申し上げます。

今年は、60年で一巡する干支では「辛丑（かのと・うし）」にあたります。「辛」は植物が枯れて新しい世代が生まれようとする状態を、「丑」は曲がった手や芽を伸ばす形を表し、前年の厳しい環境から新たに出発を期すのにふさわしい年と言えます。また、十二支の2番目の干支であることから、子年に蒔いた種が芽を出して成長する時期とされ、まだ結果を求める時期ではなく、結果につながる道をコツコツと作っていく基礎を積み上げていく時期とされます。

依然としてコロナウイルス感染症拡大は留まる様子はなく、今後もワクチンが普及し治療方法が確立されるまでは、「新しい生活様式」の実践を余儀なくされ、まさに転換期にあります。かかる状況の中、社員一丸となって、着実に物事を進めていく体制を強化し、努力精進してまいり所存ですので、引き続きご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様とご家族様のご健康とご多幸を心より祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。

肥料だけじゃない 多岐にわたる活用 石灰資材

家禽において高病原性インフルエンザが流行している。令和2年度において1月13日現在、H5N8型の高病原性鳥インフルエンザが家禽においては15県で36、野鳥においては10道県にて25事例が発生している。そんな中で家禽の殺処分の際に土中埋葬時や施設の殺菌資材として安価で流通に適した肥料でもお馴染みの石灰資材が使用されている。殺菌資材として使用されるのは主に消石灰（水酸化カルシウム Ca(OH)_2 ）で生石灰（酸化カルシウム CaO ）も使用される。石灰資材の中でも炭酸苦土石灰や貝化石などアルカリ成分が低い資材は殺菌効果がなく消石灰ならばpHが12でアルカリ度が70%以上、生石灰ならばアルカリ80%以上保証成分としてある資材に殺菌能力があるとして使用されている。石灰石鉱業協会によると石灰石鉱山は全国に200以上が稼働しており、令和1年度の石灰岩の生産量は1億3,802万トン生産されている。生石灰は肥料用や殺菌用だけでなく主に鉄鋼製造、道路、酸性度が高い温泉場近くの原水の中和剤として、最近では水に触れると発熱反応を利用した駅弁の保温に使用されるなど多岐にわたって活用されている。石灰岩は鉱物資源に乏しい我が国において国内で調達できる貴重な資源だ。

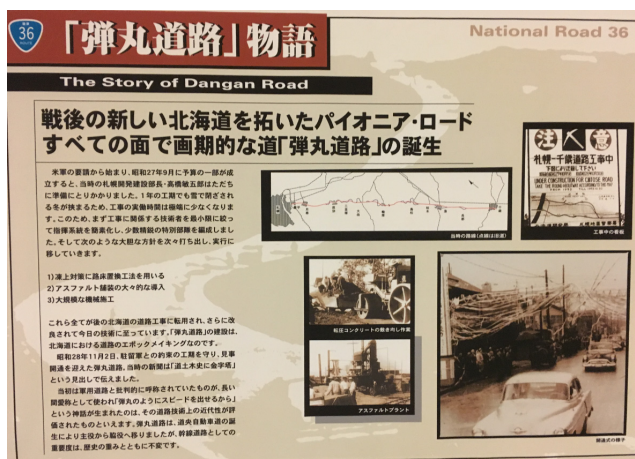


面白いネーミングの道路

皆さんの周辺にどんな名前をついた道路があるだろうか。一風変わったネーミングには何かしらの由来があるもの。普段何気なく呼んでいたその道に別の呼び名があったらどうだろうか。ここ北海道の札幌と室蘭を結ぶ道路として国道36号がある。『サブロク』というネーミングの方が広く知られている呼び名だが、サブロクにはもう1つ別の呼び名があった事はご存知だろうか。

札幌から苫小牧を抜けて室蘭を結んでいる国道36号の一部区間である札幌～千歳間の34.5kmは、『弾丸道路』と呼ばれている。この区間は1952年（昭和27年）10月に舗装工事が開始。その当時では幅員7.5m、最高設計速度75km/hという高規格道路として建設された。コンクリート舗装が主流であった時代としては珍しく、積雪寒冷地特有の凍上現象（寒気によって土壌中の水が凍り、氷の層が出来る事で地盤が隆起する事。これによって舗装がひび割れる等、破損させてしまう要因となる。）対策も盛り込みつつ、北海道で初めてのアスファルト舗装が採用される事となった。工事を行うに際しどうしても冬季が挟まる為、34.5kmの工事を僅か13ヶ月で完成した。それ程の急ピッチで行う為に大規模機械を使用し、工区を細かく区切るなど同時並行で進めた事が、他の寒冷地でのモデルケースにもなった。この弾丸道路というネーミングの由来としては、当初は米軍が駐留していた為、千歳空港と真駒内の米軍キャンプを結ぶ道路として使用しており、弾丸を運ぶ道路と非難されながらの工事だった事から弾丸道路と呼ばれるようになったという説もあるが、僅か13ヶ月で完成するという突貫工事だった事からという説、舗装される以前は悪路で最高設計速度75km/hという弾丸のようなスピードが出せるからという説もあるようだ。

札幌駅から大通駅を結んでいる札幌駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ）に北一条さっぽろ歴史写真館という昭和初期の札幌の風景を撮った写真を始め、北の道物語と題して北海道の道についてパネル形式で展示している場所がある。右図写真はその展示されていた中の1枚である。写真館と言っても地下歩道であり誰でも通る事が出来るので時間の余裕がある方は一度見てみてはいかがだろうか。パネルを見ながら奥へ進んで行くとベンチが設置されているので休憩も可能だ。他の面白いネーミングの道をいくつかご紹介したい。国道336号線のえりも町から広尾町区間迄を結ぶ約33kmの海岸沿いを走る区間は『黄金道路』と呼ばれている。完成に7年もの時間を要した為、莫大な費用が掛かった事からまるで黄金を敷き詰めたような道路だというのが由来である。北海道は直線道路が多い、又その距離が長いという印象がある。ドライブ好きな方やバイク乗りの方には有名な観光スポットだと思うが、『ジェットコースターの路』という道がある。上富良野町にある西11線農免農道を正式名称とする約2.5kmの道で、激しいアップダウンが続く。頂上付近は十勝岳連峰も眺める事の出来る絶景スポットだ。他にも、『天に続く道』や『日本海オロロンライン』といった道がある。それぞれその名前がついた由来を調べながら通ってみると面白そうだ。コロナ禍で外出自粛を余儀なくされているが、外出出来るようになった時の為に行ってみたい道を下調べし、ドライブプランを立ててみてはいかがだろうか。広大な北海道ならではの絶景スポットを堪能出来る状況に1日も早くなって欲しいと切に願う（札幌支店）



皆さま年越しはいかがお過ごしでしたでしょうか。今年も新鮮なニュースや全国各地のトピックを編集局や本支店の取材を通してお届けしていきたいと思っております。本年も当紙をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

編集集事務局：南部、助川

電話：03-5275-5511/E-mail：macjournal@mcagri.co.jp URL <http://www.mcagri.jp>